



BUSINESS REPORT

第23期 株主通信

2019年4月1日 ▶ 2020年3月31日



CONTENTS

ごあいさつ P1
世界の製造ソリューション プロバイダーを目指して P2
身近な電子機器に 当社の技術が活かしています	... P3-4
これまでの歩みとこれから	... P5-6
TOPICS P7-8
財務ハイライト P9
株式の状況 P10



株式会社ブイ・テクノロジー
(証券コード:7717)



大いなる志と溢れる情熱で、 世界最高のイノベーションを創造し、 社会に貢献します。

代表取締役 兼 社長執行役員
杉本 重人

2020年3月期 連結業績のご報告

新型コロナウイルス感染症による影響を受けられた皆様に謹んでお見舞い申し上げます。また、株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当連結会計年度のフラットパネルディスプレイ（FPD）市場においては、当社の主要顧客である中国大手FPDメーカーの多くが、厳しい感染対策の影響を受け、パネル製造を縮小すると同時に新工場および新規の生産ラインについて立上げの延伸を決定した一方で、一服していた設備投資の商談に動きがありました。当連結会計年度の当社グループの受注金額は、225億3千2百万円（前年同期474億3千万円）となりました。また、受注残高は591億4千5百万円（前年同期909億3千5百万円）となりました。

当連結会計年度の当社グループの連結業績につきましては、売上高は543億2千2百万円（前年同期売上高721億3千2百万円）、営業利益は57億7百万円（前年同期営業利益166億2千8百万円）、経常利益は62億9百万円（前年同期経常利益167億6千7百万円）、親会社株主に帰属する当期純利益は32億7千7百万円（前年同期親会社株主に帰属する当期純利益109億1百万円）となりました。

5G時代の未来社会の実現にFPDと半導体の進化は不可欠であり、テクノロジー企業である当社はFPDと半導体分野で飛躍する企業として様々な挑戦を重ねています。

FPD、中でも有機ELパネルディスプレイ（OLED）においては、5G対応スマートフォンへの置き換えや、折り畳める「フォルダブルディスプレイ」や巻き取れる「ローラブルディスプレイ」の普及が期待されており、当社はこれらに関連したソリューションの提供に全力を尽くしています。

また、半導体の世界において最も注目されている中国市場において、当社は業務提携、中国での合併会社設立そして高い技術力を誇る事業のM&A等の様々な取り組みを重ね、市場での足場を固めています。

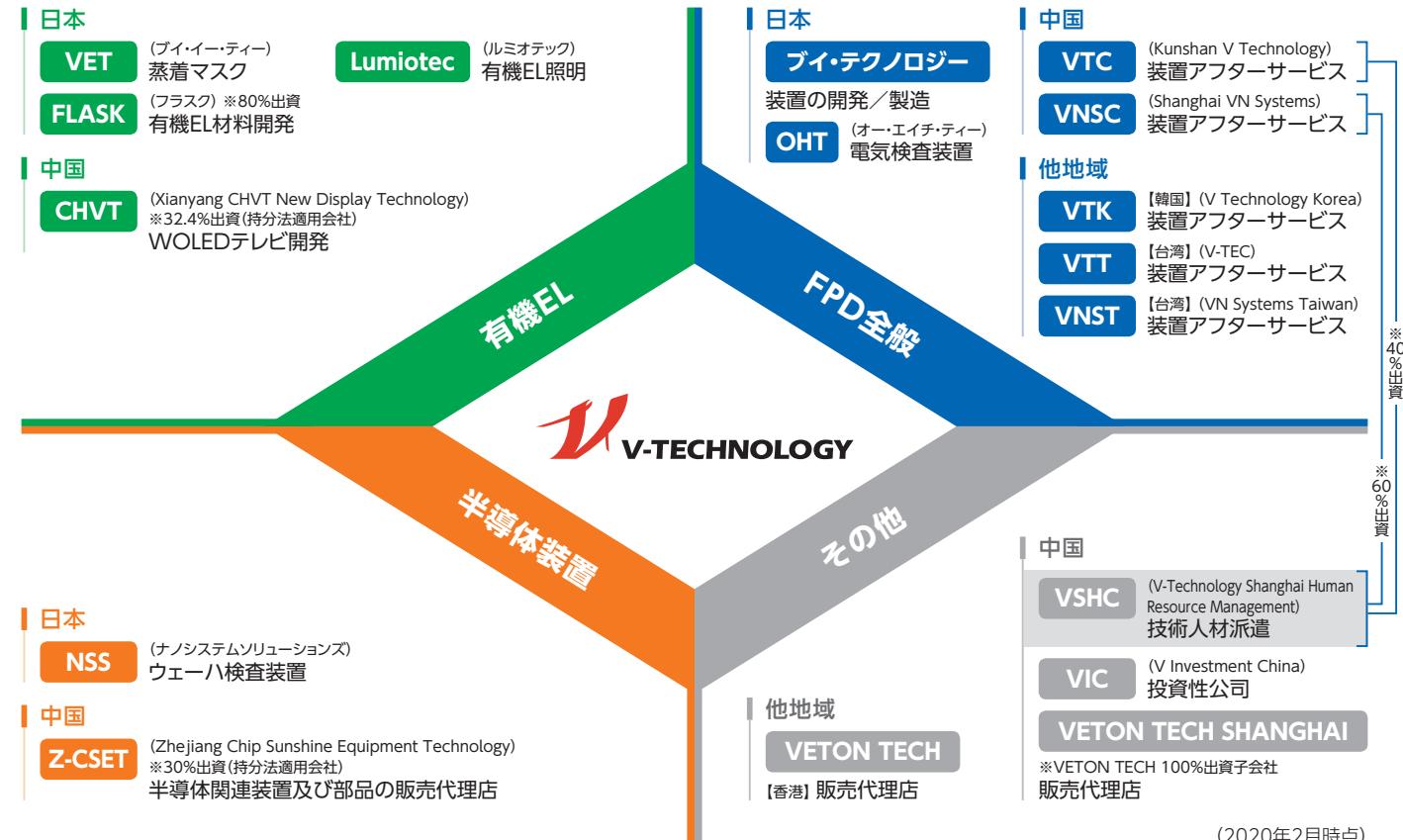
今後も株主の皆様のご期待に添えますよう、大いなる志と溢れる情熱で、世界最高のイノベーションを創造し社会に貢献していく所存です。株主の皆様におかれましては、一層のご理解とご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

2020年6月
代表取締役 兼 社長執行役員 杉本重人

世界一の製造ソリューションプロバイダーを目指して

最先端のハイテク分野で求められるソリューションは、製造装置にとどまりません。中長期的に普及が進むと予測されるFoldable/Rollable Displayに用いられる有機EL（OLED）、5G通信普及やテレワーク拡大によるデータ通信量の飛躍的な増加を背景に市場成長が加速する半導体。これらに不可欠なソリューションをお届けするNo.1プロバイダーを目指し、新製品、新事業の開発ならびにM&Aにグループ一丸で取り組んでいます。

〔バイ・テクノロジーグループ〕



(2020年2月時点)



テレビ

> FPD全般

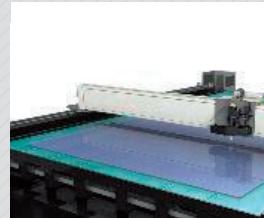
世界市場シェア**90%**以上



カラーフィルター露光装置



光配向露光装置



精密座標(寸法)測定装置

街中のテレビの9割は当社の技術を使って製品化されています

> FPD全般

世界市場シェア**50%**以上



検査装置
(画像検査/
OSテスター)



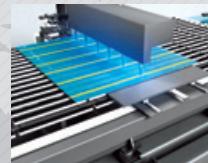
欠陥修正
装置

> 有機EL

有機ELテレビ用**次世代技術**の開発



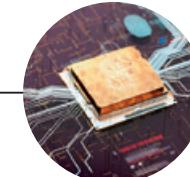
WOLED用
蒸着装置



レーザーアニール装置



スマート
フォン



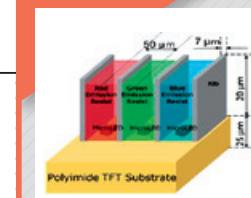
CPU
半導体



画面

スマート
ウォッチ

> マイクロLED



> 半導体装置

国内市場シェア**50%**以上

ウェーハ検査



エッジ検査



平坦度検査

> 有機EL

スマホ用OLEDの**次世代技術**



ファイン
ハイブリッド
マスク (FHM)



サルベージサービス
画質不良 → 良品化
各種欠損を
除去



縦型蒸着装置

[サルベージサービス]

OLED工場 (45K/月)

パネル生産

良品/出荷

良品/出荷

最大約240万枚/月の
不良パネル



良品化を
外部委託

サルベージサービス

V-TECHNOLOGY



Demuraで良品化

サルベージ
により
出荷数量UP

受入・検査

出荷



成長
フェーズ

Phase1 (1997-2005)

Phase2 (2006-2014)

Phase3 (2015-2019)

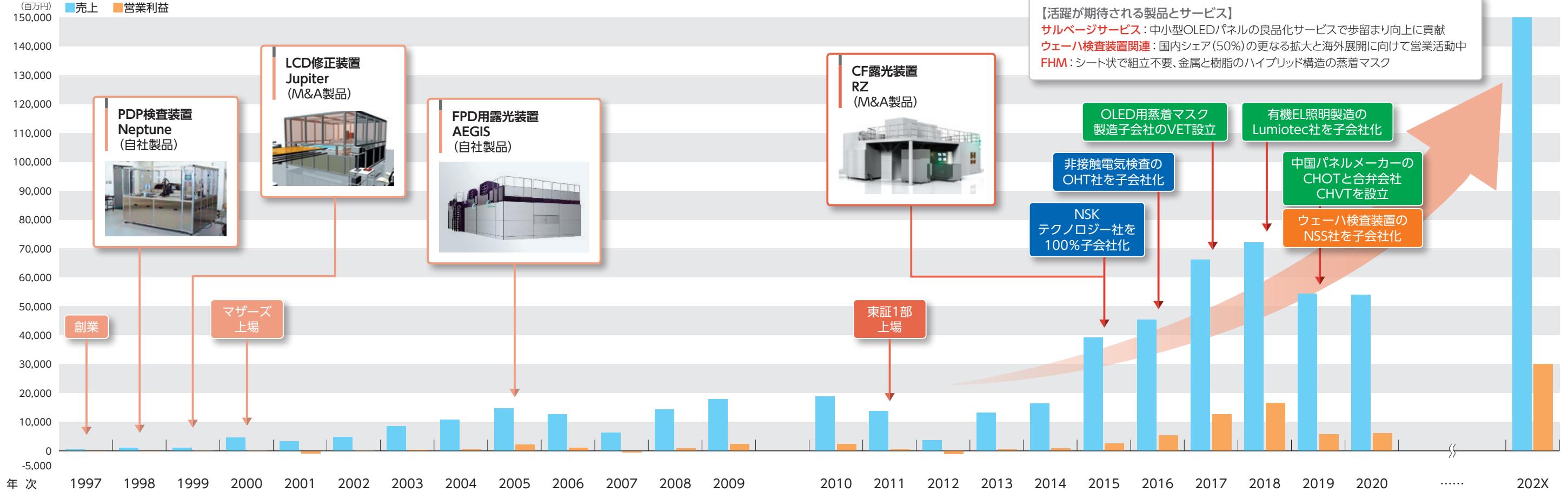
Phase4 (2020-202X)

設備投資の波(クリスタルサイクル)や景気変動の影響を受け、赤字年度有り

自社開発・M&A・市況回復
(中国ビジネス展開加速)により躍進

新たな成長を目指し、半導体
そして部材・サービス分野へ事業を拡大中

売上と営業利益



世の中の
主な動き

ITバブル
崩壊

投資
低迷期

リーマンショック
エコポイント

投資
低迷期

新型コロナ
ウイルス

TOPICS

1

女子柔道部を
設立いたしました

ブイ・テクノロジー女子柔道部設立について

当社は頂点を目指して全力を尽くす次世代の柔道選手たちを支援するために全日本柔道連盟の様々な大会や活動に2017年から協賛しています。この度、フラットパネルディスプレイおよび半導体分野での事業拡大に伴い、より直接的に日本柔道界の振興に貢献すると同時に、一歩踏み込んだ社会貢献活動を展開するべく、また、当社グループに加わった多様なバックグラウンドを持つ社員の士気高揚と一体感の醸成も狙い、ブイ・テクノロジー女子柔道部を2020年4月1日に設立いたしました。

女子柔道部は、これまで国際大会で数々の輝かしい実績を誇る宇高菜絵氏をコマツ女子柔道部より選手兼監督として迎え、当社グループ社員からのオリンピックメダリストの輩出を目指し、始動いたしましたことをご報告いたします。



プロフィール

出身地：愛媛県 生年月日：1985年3月6日
階級：57kg 得意技：大外刈り
経歴：2007年4月、小松製作所に入社、女子柔道部に所属
：2020年4月、当社に入社、女子柔道部の選手兼監督に就任

この度、ブイ・テクノロジー女子柔道部の選手兼監督に就任いたしました宇高菜絵です。

コマツ女子柔道部では13年間、オリンピック出場を目指し国内外の大会で第一線の選手たちと切磋琢磨し、皆様の応援のおかげで、2014年のチェリアビンスク世界選手権で優勝出来た他、数多くの国内外の大会で実績を残すことが出来ました。高みを目指し繰り返してきた無数の挑戦と、支えてくださる方々への無数の感謝が幾重にも重なる、とても充実した13年間でした。

今年、柔道に出会って30年目の区切りの年を迎えます。ブイ・テクノロジー女子柔道部の指導者として、心機一転、元気と勇気、感動を与えられるチームが作れるよう、これまで培った経験を活かし、選手兼監督として最前線で尽力してまいりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

TOPICS

2

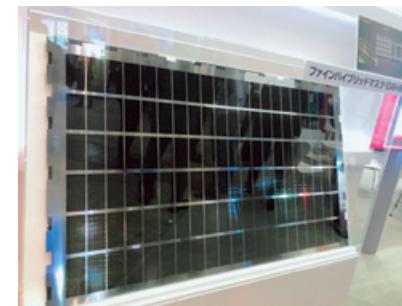
FINETECH JAPAN 2019に
出展いたしました

当社は2019年12月4日から6日に幕張メッセで開催された展示会「第29回 FINETECH JAPAN 2019」に出展いたしました。FINETECH JAPANとは、電子ディスプレイ(液晶、有機EL、量子ドット、マイクロLED)から、その製造装置、材料技術までが一堂に出展する商談展で、当社は今回で20回目の出展となりました。会期中の様子をご報告いたします。

3日間合計で延べ649名の来場者様が当社ブースに足を運んでくださいました。当社の製品紹介や今後の事業展開についてのプレゼンテーションにも、多くの来場者様にご清聴頂き、3日間を通して盛況のうちに終了することが出来ました。



グループ会社のVETで製品化を進めている、Fine Hybrid Mask (FHM) のG6ハーフサイズを初公開いたしました。FHMの最大の特長は他社の既存品と違い、シート状になっているため組立が不要であり、高画質にも対応可能です。来場者の皆様にも大変ご興味を持って頂けました。



FINETECH JAPANの2日目には、専門技術セミナーにてVET社長の長野が、金属材料と樹脂材料を用いたハイブリッド構造のOLED用蒸着マスクであるFHMについて、約70名の方々にご説明いたしました。

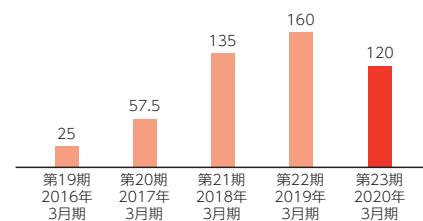
売上高 (百万円)



総資本回転率 (回)



1株当たり配当金 (円)



(注) 1株当たりの情報については過去に遡って株式分割等に伴う調整計算を行っております。

経常利益/親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)



1株当たり純利益/1株当たり株主資本 (円)



【利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当について】

当社の利益処分に関する基本方針としては、将来の更なる事業拡大に向けたM&A、設備投資、研究開発投資や経営基盤強化のために必要な内部留保の充実を勘案した上で、配当の安定性、継続性、及び配当性向等を考慮し、経営成績に応じた利益還元を行っていく方針としております。この方針のもと、2020年3月期の期末配当金につきましては、1株当たり40.00円の配当(中間配当金80.00円を含め年間120.00円)となりました。次期の配当金につきましては、1株当たり年間120.00円とする予定であります。

配当予想の修正

	1株当たり配当金(円)		
	中 間	期 末	年 間
当期(2020年3月期)	80円00銭	40円00銭	120円00銭
次期(2021年3月期)	60円00銭	60円00銭	120円00銭

経常利益率 (%)



ROE (%)



株式の状況 (2020年3月31日現在)

- 発行可能株式総数 35,180,600株
- 発行済株式総数 10,057,600株
- 株主数 9,384名

(注) 当社は、2019年6月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。

大株主 (上位10名)

株主名	所有株式数	持株比率
杉本重人	1,174,600株	12.14%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	449,100株	4.64%
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505253	225,600株	2.33%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	190,400株	1.96%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	173,300株	1.79%

大和証券株式会社 124,000株 1.28%

STATE STREET BANK WEST CLIENT-TREATY 505234 111,300株 1.15%

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社 99,310株 1.02%

日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口1) 98,100株 1.01%

日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口7) 92,500株 0.95%

当社は自己株式388,111株を保有しておりますが、上記から除いております。また、持株比率は自己株式(388,111株)を控除して計算しており、小数点第3位を切り捨てて表示しております。

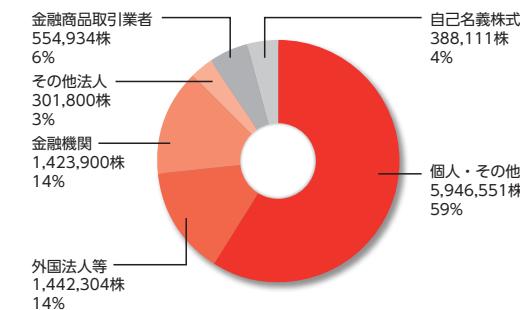
株主メモ

- 事業年度 4月1日～翌年3月31日
- 定時株主総会 毎年6月に開催
- 配当金受領株主確定日
 - ・期末配当金 3月31日
 - ・中間配当金 9月30日
- 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 特別口座の口座管理機関
 - ・同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 - ・同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
- 上場証券取引所 東京証券取引所 (証券コード 7717)
- 公 告 の 方 法 電子公告とします。但しやむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は日本経済新聞に掲載します。公告掲載の当社ホームページアドレス <https://www.vtec.co.jp>

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

● 株式所有者別分布



会社概要 (2020年3月31日現在)

社 名 : 株式会社ブイ・テクノロジー
設 立 : 1997年10月16日
本 社 所 在 地 : 横浜市保土ヶ谷区神戸町134 横浜ビジネスパークウイーストタワー9F
TEL : 045-338-1980 FAX : 045-338-1781

取締役会

代 表 取 締 役	杉 本 重 人
取 締 役	天 日 和 仁
取 締 役	神 澤 幸 宏
取 締 役	城 戸 淳 二
取 締 役	西 村 豪 人

※城戸淳二および西村豪人は社外取締役です。

監査役会

常 勤 監 査 役	中 原 有 庸
監 査 役	大 倉 修 和
監 査 役	住 田 勲 勇
監 査 役	宇 田 賢 一

※大倉修和および宇田賢一は社外監査役です。

執行役員

社長執行役員	杉本 重人
専務執行役員	梶山 康一
専務執行役員	勝原 隆
常務執行役員	米澤 良

執 行 役 員	天日 和仁
執 行 役 員	神澤 幸宏
執 行 役 員	天野 勇
執 行 役 員	水村 通伸
執 行 役 員	松元 康博
執 行 役 員	伊藤 行男
執 行 役 員	大淵 一人

執 行 役 員	飯野 仁
執 行 役 員	田口 和明
執 行 役 員	永井 一馬
執 行 役 員	張 尚敦
執 行 役 員	後藤 順
執 行 役 員	菅井 健

投資家の皆様にとって、情報が
見やすいサイト運営を心掛けて
おります。

スマートフォンにも対応しており
ますので、ぜひご活用下さい。

TOPページはこちら



IR情報ははこちら

